



学校通信

とうよう

第11号
令和6年12月2日
泉大津市立東陽中学校
校長 花見 明子

東陽校区小中一貫教育校 重点教育目標 「誰とでもつながる力」の育成
学校教育目標 「なかまとともに、額に汗、脳に汗かく」生徒を育成する

足早に秋は過ぎ去り、気がつけば冬の到来です。青空に紅葉が映える日があると思えば、厚い雲に覆われた冬空が広がる日もあり、二学期も残すところ三週間となりました。教室や体育館、運動場をのぞくと一生懸命学習している姿が目に残ります。澄んだ冷たい空気は気持ちを引き締め、学習を深めるには最適ですね。体調管理をしっかりと行いながら12月を過ごしてほしいと思います。

1年生校外学習（大阪市内フィールドワーク）

11月14日、1年生は「班活動を通して、仲間と協力し自分たちで課題を解決しようとする」「大阪の魅力を再発見し、興味を深めて伝える」ことを目的とし、フィールドワークを中心とする校外学習を実施しました。行先は大阪市内。班に緊急連絡用の電話があるとはいえ、簡単なことではありません！天王寺動物園、大阪城公園、コリアタウン…地元大阪の有名な観光地ですが、どうやって行くのか？場所によってはじめての人もいたと思います。班で協力しながら時には迷いながら歩いた経験は何事にも代えられない貴重な学びです。思い出と共に心にしっかりと刻んでおきましょう。



2年生キャリア教育（出前授業）

「働くとはどういうことなのかをより深く考え、勤労に関する苦労や喜びをさらに知ることで、自らの将来設計及び、進路選択につなげていく」これを目標にして、泉大津市青年会議所のご協力でキャリア教育出前授業を実施しました。マジシャン、オーダースーツ、トータルビューティ、土地家屋調査士、看護師、市議員という様々な職種の方々にお越しいただき授業をしていただきました。東陽中学校をはじめ泉大津市内の小中学校を卒業生された方が多く、皆さん地域で活躍、貢献されている方ばかりです。仕事には、資格や高度な技術、そして経験が必要なのはもちろんですが、何よりお越しいただいた方の仕事への情熱が教室に広がり心に響く授業となりました。大人の力強い真の意気込みに触れることができ、2年生の未来への展望はうんと広がったのではないのでしょうか。



Toyo English Cafe

JETプログラムが始動して3か月が経ち、授業だけでなく休み時間や委員会活動などで英語に触れる機会がずいぶん増えました。参加を募って開催した“Toyo English Cafe”ではゲームを中心とするアクティビティを取り入れたプログラムを行っています。外国人指導者が話す耳から入ってくる英語が“わからない”から“気になる”そして“話してみたい”と自然に英語に親しむ環境をつくることができたなら…令和の言葉をふんだんに取り入れて自由に日本語を話している中学生が、どうやって難易度の高い日本語を習得してきたのか？説明するのは難しいですが、家族との関わりの中で得た基本的なことを就学前の園所や小学校で積み上げたことが大きいと感じます。語学としての英語は時期として少し遅れての学習になりますが、しっかり聞くこと、躊躇なく発声すること、そして何度も繰り返すことで英語力を高めてほしいと思います。



*学校の活動を紙面で紹介できるのはごく一部、日々の教育活動詳細はHPに掲載しておりますので、お時間のある時にぜひご覧ください。

<https://izumiotsu.schoolweb.ne.jp/2720018>